



- めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

秋山っ子

- 学校の教育目標

豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～

串間市立秋山小学校 学校だより NO. 5 令和6年8月26日発行

2学期スタート

2学期がスタートしました。夏休み中に子どもたちが大きな事故や事件に巻き込まれたという連絡はなく、全員元気に2学期が迎えられたことをうれしく思っています。これも地域や保護者の皆様のご指導、見守りのおかげであると感謝しています。2学期の主な行事としては、10月に北方小との合同運動会、11月に市音楽会、市陸上記録会、地域の皆様とのグラウンドゴルフ交流会、12月には大東小との合同持久走記録会、福島小との交流学习が予定されています。どの行事も地域の方や他校の児童とふれ合う絶好の機会ですので、保護者、地域の皆さん、他の小学校、そして関係機関にご協力いただきながら、教育効果が高まるよう計画・準備し、実施していきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

「ういてまで」教室（着衣泳）

7月16日（火）の5校時に、「ういてまで」教室（着衣泳）を実施しました。串間市消防署から2名の署員の方をお招きし、指導をしていただきました。最初に着衣泳の目的と心構えについての話がありました。話の後は、プールに移動し、入水の仕方を教えていただき、歩行体験をしました。次に浮いて待つ背浮きの練習をし、今回は、助ける側の練習も行いました。最後に、夏休み中の安全な過ごし方についてご指導いただきました。お忙しい中、そして暑い中、わかりやすく教えていただいた串間消防署の方々、ありがとうございました。



秋山クリーン活動①

7月17日（水）の5校時に今年度1回目の「秋山クリーン活動」を実施しました。はじめに校長が話をしました。次の3つのことを確認しました。

- 平成3年度に始まった歴史と伝統ある行事であること（今年度が34年目であること）
- 自分たちの地域（通学路）をきれいにする活動であること
- 日頃からお世話になっている地域のため（恩返し）の活動であること

そのあと、2グループに分かれてAグループは小城久保、秋山地区、Bグループは倉掛地区のごみ拾いをしました。秋山公民館で合流し、ごみの分別をしました。燃やせるごみと燃やせないごみの2つに分けました。みんなで力を合わせて通学路等がきれいになってよかったです。2回目は、12月に行う予定です。



千羽鶴贈呈式

7月19日（金）の1校時に千羽鶴贈呈式を行いました。この行事は、千羽鶴を県原爆被害者の会の方に贈呈する式です。贈呈した千羽鶴は、長崎の原爆記念の日に爆心地から600mのところにあ

る長崎市立山里小学校に届けていただきます。この活動は、昭和58年度から始まり、今年度が41年目になりました。はじめに校長が千羽鶴を贈るようになった経緯や千羽鶴を献上する山里小学校について話をしました。代表で6年生の児童が県被爆者の会副会長であり串間支部長の郡司様に、本校の5名の児童、保護者、そして職員が折った千羽鶴と秋山小にかつて在籍されていた新富町在住の方からお預かりした千羽鶴、合わせて二千羽の折り鶴を贈呈しました。そのあと、6年生の児童が代表でお礼のことばを述べました。最後に郡司様から話をしていただきました。秋山小学校の児童、保護者、職員、そして秋山小のOGの方の平和への願いや思いが日本中、世界中に広がっていくことを願っています。

ジャンボカボチャ祭り

7月21日（日）に鯛取公民館でジャンボカボチャ祭りがあり、初めて秋山小も出品しました。当日は、本校職員、児童、保護者に声をかけていただきましたので、学校からは、職員4名、児童2名、保護者2名、計8名が参加しました。祭りの中では、ジャンボカボチャの表彰がありました。重さを競う部門では、本校の児童と職員で育てたカボチャが2位に入りました（写真の右が秋山小のカボチャ、左側が一位のカボチャです）。地域の名人からご指導いただきながらみんなで草抜きをしたり、水やりをしたりして育てたことがこの結果に結びついたのだと思います。また、そのあとに行われた重量あてクイズでは、本校の児童がわずか0.3kg差で1位になりました。地域の方とふれ合うことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。ご招待いただき、ありがとうございました。なお、この祭りの様子は市の広報誌にも掲載される予定です。どうぞご覧ください。

6年生合同学習会

7月24日（水）に串間中学校で串間市小中高一貫教育の取組の1つである「6年生合同学習会」がありました。この取組は、中1ギャップ解消のために例年行われている取組です。今までは、中学校の先生に授業をしていただいていたのですが、今回は、キャリア教育の一環としての取組の要素も入れた内容でした。まず、小学生2～3名と中学2年生1～2名のグループに分かれ、串間市教育委員会の生涯学習課の方のご指導のもと、自己紹介やアイスブレイキングをしました。自己紹介では、名前と1億円もらったら何を買うかなどを紹介していました。アイスブレイキングでは、グループ対抗でクイズをしたり、31（サーティンワン）ゲームというゲームをグループごとにしたりしました。次に「語り場」を行いました。あらかじめ各学校で書いてきた「人生マップ」を使って今までの自分やこれからの自分について説明し合ったり、質問し合ったり、感想を言い合ったりしました。この活動を、2回（中学生だけが別のグループと入れ替わって）行いました。説明した児童・生徒にとっては、別の学校の児童や中学生に説明をするという経験をすることができただけでなく、今までの自分のことを振り返ったり、これからの自分について考えたりするよい機会になったようです。また、1回目よりも説明が上手になっており、伝える力の向上もみられました。説明を聞いた児童・生徒にとっては、後輩、先輩や同級生の発表を聞くことによって、いろいろな意味で刺激を受けたのではないかと思います。

